

講義科目	: 社会福祉援助技術論Ⅱ	単位数	: 4
担当	: 水谷 久	学習形態	: 自由選択科目 社会福祉士必修科目
		実務経験	: 有
			* 第2学年で履修

講義の内容・方法および到達目標

社会福祉援助技術の理念と意義を知り、その展開過程について講義を行います。さらにサービス等利用計画及び個別支援計画作成プロセスを理解し、相談支援についての業務内容や相談援助活動の実践について学びます。

また、社会福祉の現場においてどのようなソーシャルワーカーが求められているかについて考え、地域生活を支える相談支援のスキルを養い、社会福祉援助における価値・知識・技術・能力について理解を深めることを目標とします。

授業計画

第1回	オリエンテーション(福祉的援助の基本姿勢について)	第16回	演習Ⅳ(モニタリング会議)
2回	福祉的援助を必要としている人	17回	演習Ⅴ(事例A・Bの計画書作成)
3回	援助技術に関係する歴史上の人物	18回	演習Ⅵ(サービス等利用計画の発表)
4回	バーネットやトインビーらの活動と功績	19回	国家試験過去問題Ⅰ・Ⅱ
5回	認知症高齢者のグループホームでの暮らしについて	20回	国家試験過去問題Ⅰ・Ⅱの解答と解説
6回	認知症高齢者との対人援助について演習	21回	自閉症の理解(関わりのポイント)
7回	ソーシャルワークの概要	22回	自閉症の障がい特性
8回	ICFの理解	23回	支援を必要とする子供たちの理解
9回	個別支援計画作成の視点	24回	発達障害の理解(関わり方・ほめ方)
10回	福祉サービス提供のプロセス(初回面談・アセスメント・計画・モニタリング)	25回	グループ会議(個別支援計画書及び週間計画表の作成)
11回	利用者主体のサービス等利用計画とは	26回	個別支援計画書の修正(モニタリング)
12回	サー担会議事項書の様式と記入例について	27回	直接援助技術の基本的な枠組み
13回	演習Ⅰ(事例の紹介・受付票記入)	28回	援助技術模擬問題Ⅰ・Ⅱ
14回	演習Ⅱ(個別支援会議のロールプレイ)	29回	模擬問題Ⅰ・Ⅱの解答と解説
15回	演習Ⅲ(サービス等利用計画の作成)	30回	まとめ(4つの総体と10のPについて)

教材・テキスト・参考文献等

- ・それぞれの単元ごとに必要なプリントを作成し、講義を進めていく予定です。
- ・日総研出版：「障がい者ケアプラン記載事例集」（著者：鈴木真、水谷久、南川久美子、森徹雄）及び中央法規出版：「新・社会福祉士養成講座テキスト第7巻・第8巻相談援助の理論と方法」を紹介しておきます。

成績評価方法

- ・毎回、講義前に出欠をとります。
- ・全講義回数の3分の2以上の出席がない場合、評価の対象外とします。
- ・成績は筆記試験又はレポート課題を50%（評価割合）、出欠状況や学習態度などを50%（評価割合）とし、総合的に評価します。

実務経験

- ・社会福祉法人の管理・運営及び障がい者等の人権擁護や地域福祉について支援活動をしている。

障がい者相談支援センター及び障がい者虐待防止センター長等での対人援助の実務経験をもとに社会福祉士及び介護支援専門員として社会福祉援助技術について講義を行います。

その他

- ・講義の状況等により、内容を変更することもあります。